

気軽に文化講座 第4回

コミュニティ カレッジin内子

2025年8月28日(木)

19:00~20:30

内子自治センター1階 多目的ホール

愛媛大学地域共創研究センター・コミュニティカレッジin内子懇話会・内子町教育委員会 共催

民俗学者・宮本常一の 「まなざし」の継承

愛媛県内子町をフィールドにして

民俗学者の宮本常一（1907～1981）は生涯にわたり全国の農山漁村を旅し、土地に息づく暮らしの文化を記録しました。そして人びとの豊かな暮らしの在り方を模索し続けました。本講演では、その宮本が内子町で撮影した写真を読み解く共に、宮本常一の旅の在り方を振り返り、どのようにすれば地域の「光」を見出し共有することができるかを参加者の皆さんと一緒に考えることができます。

受講料

会費500円（高校生以下は無料）/年会費2,000円 で全講座受講可

受講方法

会場にてご参加される方は事前申し込み不要です。ライブ配信でのご参加を希望される方は開催日前日までに下記メールアドレスまでご連絡ください。

gakusyujichi-s@town.uchiko.ehime.jp（自治・学習課）

お問合せ

内子町教育委員会（自治・学習課） 0893-44-2114/カレッジ懇話会（会長 森長照博） 0893-44-2094



講師

高木泰伸 たかき たいしん

愛媛県立医療技術大学 非常勤講師
宮本常一記念館 元学芸員

熊本県山鹿市出身。大学では日本の戦後史を研究。2009年より山口県周防大島にある宮本常一記念館に勤務、2021年より愛媛県へ転居して瀬戸内海地域、四国山地の暮らしの変化を研究。地元のお年寄りからの思い出話をうかがうのがライフワーク。
専門分野：歴史学・民俗学



愛媛大学 地域共創研究センター
Research Center for Regional Collaboration